

昭和 50 年

国勢調査報告

第 1 卷

人口総数

1975 POPULATION CENSUS OF JAPAN

VOLUME 1

TOTAL POPULATION

総理府統計局

Bureau of Statistics, Office of the Prime Minister

S334.61
S615(75)1
16

ま え が き

昭和50年10月1日を期して行われた昭和50年国勢調査は、国民各位の多大のご協力を得て無事終了し、現在までに、その主要な結果を各種の報告書によって刊行したほか、更に、詳細な結果を鋭意とりまとめ中である。

国勢調査は、大正9年に第1回の調査が行われて以来、10年目ごとに大規模な調査が、また、その中間の5年目には簡易な方法による調査が、半世紀以上にわたりほぼ定期的な実施されており、今回の国勢調査は第12回目に当たる。更に、今回の国勢調査は、戦後、国民の祈願でもあった沖縄県が本土に復帰して初めての国勢調査という記念すべき調査でもあった。

国勢調査は、いうまでもなく、全国、都道府県のみならず、各市区町村の人口の状況をつまびらかにし、雇用、住宅、社会福祉、衛生、交通など社会・経済の各種行政上の諸施策の立案・実施のための重要な基礎資料を得ることを目的として全国民に対し行われるものである。近年、我が国の人口は、地域分布や構造において顕著な変動を続けており、このために、経済、社会の各方面において生じたひずみに対し、その対策を急がれているが、国勢調査はこれらの現状分析と諸施策の効果的な立案・実施のために欠くことのできない資料を提供するとともに、産業、学術研究などの各分野においても広く利用されるものである。

このため、今回の国勢調査では、全国で約64万人の国勢調査員に調査の実施に当たっていただくとともに、最新の集計方法を採用して、これらの結果を早期に集計し公表することとした。

この報告書は、「昭和50年国勢調査報告 第1巻」として、昭和50年国勢調査の結果のうち、全国、都道府県、市区町村及び人口集中地区の人口、面積に関する統計表を従前の結果と併せて収録したものである。人口の各調査事項別結果は、全数集計又は抽出集計の方法により、現在集計が進行中で、「昭和50年国勢調査報告 第2巻～第6巻」として、集計完了の都度、巻を追って刊行することとしており、「第2巻 全国編」及び「第3巻 都道府県・市区町村編」は既に刊行済みである。

この報告書を刊行するに当たり、今回の国勢調査の企画・実施の段階から結果の集計・編集に至るまでの間、一方ならぬご指導ご協力をいただいた多くの方々に心から感謝の意を表する。

昭和52年9月

総理府統計局長 吉岡邦夫